



茶道や年賀状づくりなどの日本ならではの文化体験も。お互いの国の風習について話すことで異文化理解にもつながっていきます。

『力を合わせて』 『地方創生課』 編

市役所×日本語交流員×市在住外国人

にほんごサロン～「違い」を大切に！対話を中心とした国際交流～

地方創生課では、市民参加型の国際交流と在住外国人への生活情報提供やコミュニケーション支援を行うため、国際化推進事業を行っています。

なかでも昨年9月からはじまった「にほんごサロン」では、日本人交流員の皆さんが小林市在住の外国籍の皆さんと日本語（西諸弁？）と、ときには外国語を使って、小林市での日常生活に必要な情報交換を行っています。

今年度は日本語交流員のため

の研修会をあわせて全7回開催。第6回目は「火事・救急」をテーマに、中央消防署の職員を招いて、自然災害時の避難場所の確認や火事・救急の場合を想定しての消防署への通報練習をしたりしました。

本市で生活している外国人は年々増えています。不安な気持ちを抱えている人もいるかもしれません。国籍が違って同じ小林市に住む者同士助け合う関係をつくっていきます。

ALTの『英語コラム』

お気に入りの季節

My favorite season ～クリス先生～

Hello Kobayashi, It's my favorite season, winter! When I was 9 years old, I lived in Aomori. I remember the first snowfall with fond memories and joy in my heart. It is cold outside, but I know we can make many memories during this precious time. Let's share our warm smile with others!

小林の皆様、冬は私の大好きな季節です。私は9歳の時、青森に住んでいました。初雪の時に感じた懐かしい思



い出と喜びを感じたのをいまでも覚えています。外は寒いですが、そんな季節でもたくさんの思い出を作っていきましょう。近しい人たちと笑顔ですごしていきましょう。

『メロンばなし』

Seijinshiki

フランスでは大人になるのは18歳です。18歳になったら、お酒やタバコが買えて、車の運転を一人で出来るようになって、親の許可がなくても結婚出来て、選挙権も得られます。だけど、日本のような成人式などはないです。ただ市役所からの手紙をもらいます。個人的に誕生日会を開くことはありますが、決まったものではないです。ホームパーティをしたり、レストランで食事をしたりして祝います。どんなことをしてお祝いするかは、誕生日の人が決めます。残念なのは、6月に誕生日のある高校3年生です。高校を卒業するためのBaccalauréatという試験が6月にあります。誕生日が6月の人にとっては、試験の準備で忙しく、誕生日会などをするのが難しいです。

